

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 119 平成30年10月号

*Urban Research Center, Fukuoka*

## ◆URC資料室ニュース

## ①平成30年度 第3回 ナレッジコミュニティ

「福岡市経済の平成期30年を振り返って」参加者募集中!

8月1日、当研究所の前身である財団法人福岡都市科学研究所が設立されてから30周年を迎え、今年度のナレッジコミュニティでは、福岡市のこれまでの30年の変化を様々な切り口で振り返るシリーズを、4回に分けて行っています。

シリーズの第3回目は、福岡市の30年の経済の変化について岡田允元特別研究員にご講演いただきます。

福岡市が元気な都市として注目される理由は、活発な経済活動によるところが大きいと思われます。

長年福岡市をはじめ九州内自治体の経済政策を研究された岡田氏のお話から、平成期経済の変化を学び、これからの展望について、一緒に考えてみませんか。

【日 時】平成30年12月14日(金)

15:00~16:30(受付開始 14:30)

講演・意見交換

【会 場】URC 会議室 福岡市中央区天神 1-10-1

福岡市役所北別館 6階

【定 員】30名 ※先着順受付 参加費無料

【お申し込み】Eメール(library@urc.or.jp)または

FAX(092-733-5680)で、①氏名・②所属・③電話番号・④Eメールアドレスをご記入のうえ、お申し込み下さい。(メール件名:平成30年度 第3回 URC ナレッジコミュニティ参加希望)

【締め切り】12月11日(火) 必着です。

(山崎三枝 都市政策資料室司書)

## ②平成30年度 第2回 ナレッジコミュニティ

「コンパクトシティと言われる福岡の街を支えるインフラ整備について」を開催しました!

9月25日、アクロス福岡2階セミナー室2において本年度第2回ナレッジコミュニティ「コンパクトシティと言われる福岡の街を支えるインフラ整備について」を、樗木武前理事長(以下=樗木先生)をスピーカーにお迎えし開催しました。

内容は「福岡の街づくりとインフラ整備の概観と展望」というタイトルで、**都市の姿**Ⅰ福岡の街の形成と課題、**インフラ**Ⅱ交通体系の整備と課題、Ⅲ安全・安心の街づくりと課題、**今後の街とインフラ**Ⅳこれからの福岡の街とインフラ整備を考える、に分けて話されました。講演は、配布資料も豊富でわかりやすく丁寧でしたが、途中で時間が足りなくなり、後半は駆け足になってしまいました。樗木先生は時間の延長を提案されたのですが、会場の都合でご希望に沿えず、樗木先生のみならず、ご参加の皆様にも物足りなさが残ったのではないかと思います。

そこで、当日の**発表原稿**をURCのホームページで公開させていただきます。資料室でもプリントアウトして登録し、蔵書としてご利用いただけます。

平日の午後という時間帯にも関わらず、ご参加くださいました多くの皆さまに、心から御礼申し上げます。



熱弁を振るわれた樗木先生

なお、資料室では今、発表資料とともに樗木先生の著書  
を展示しています。この機会に是非お読みください。

写真：URC撮影（山崎三枝 都市政策資料室司書）

### ③蔵書点検のための休室のお知らせ

資料室は**11月26日月曜日**から**12月7日金曜日**まで、**蔵書点検のため休室**します。

**休室期間中は、新聞を含む閲覧、貸出、問合せへの対応等できません**のでご理解、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

なお、今回は図書を対象とした蔵書点検です。貸出されている**図書をお持ちでしたら、11月22日木曜日までに返却**くださいますようお願いいたします。**返却は、福岡市役所1F情報プラザの返却ポスト**をご利用いただけます。

### ④アジア都市景観賞ポスター展示中



8月1日から3日  
まで、アジア太平洋都市サミットの市長会議開催に伴い、アジア都市景観賞のPRイベントを行いました。その

ときに使用したポスターを、資料室入り口の展示コーナ

ーでただ今展示しています。

タイのバンコク、ベトナムのダナン、ネパールのカトマンズ、シンガポール、インドネシアのスラバヤ、ミャンマーのヤンゴン、中国の銀川、韓国の釜山、浦項(ポハン)、チェジュ、日本からは北九州、鹿児島市、長崎市、熊本市、福岡市です。この機会にご覧いただき、事業へのご理解を深めていただけましたら幸いです。

写真：URC撮影（山崎三枝 都市政策資料室司書）

### ◆URCニュース 福岡市国際視察研修受入報告

本年9月、韓国から5団体、81名が福岡市の住み良いまちづくりに関する取組みを学びに来福されました。各団体は、市民福祉プラザ、精神保健福祉センター、ベジフルスタジアム(新青果市場)を視察しました。研修プログラムでは、福岡市の高齢者及び市民福祉に関する取組みと、農林水産物の流通及び管理に関する取組みについて説明を受けられました。

福岡市の先進的な取組みを海外に発信することで、研修に来られた都市の問題が解決することを期待します。



韓国：金海市視察団のベジフルスタジアム訪問



写真：URC撮影(李英雄 国際視察研修担当)

## ◆今月のおすすめ/『AI vs.教科書が読めない子どもたち Artificial intelligence vs. Children who can't read textbooks』 新井紀子著 (東洋経済新報社 2018.2 発行)

AI 旋風の巻き起こる日本において、「東ロボくん」の生みの親である新井紀子氏が AI にまつわる巷のウソとホントを“論理的に”解説する。発刊から2か月余りで第8刷が発行されるほどの人気ぶりで既に手に取られた読者も多いのではないだろうか。かく言う私も友人からは是非！とお薦めされ、URC の今年度の総合研究テーマである Society 5.0 の勉強に…と読み進めるうち、漠然とした AI に振り回されている一人であると痛感した次第である。

さて、「東ロボくん」とは、2011年から「ロボットは東大に入れるか」を目標に掲げ、AI 技術の開発を進めてきたプロジェクトの主演であり、そのプロジェクトリーダーを務めてきたのが新井氏である。本著を読み進めるにあたり、まずもって確認しなければならないのは、AI という用語の意味である。そもそも私たちが耳にする AI とは、ほとんどの場合 AI 技術、すなわち、AI を達成するために開発された技術であり、AI が自律的に自分自身よりも能力の高い AI を作り出す「真の意味での AI」と混同されてはならないのである。この「真の意味での AI」が出現する地点がシンギュラリティ（技術的特異点）と呼ばれる。

そして、そのシンギュラリティは、少なくとも我々や子どもらの世代で目にすることはない！と著者は断言する。なぜなら、AI（コンピュータ）が行うのは基本的に四則演算のみであり、足し算と掛け算の式に翻訳できないことは処理できないという壁があるからだ。その詳細は本著に譲るとして、読解力や常識、人間らしい柔軟

さを AI が習得するという世界の入り口はまだ見えていない。

ではなぜ、われわれは AI を恐れなければならないのか。そこには、AI が苦手とする能力である「読解力」を、多くの子どもたちも苦手としているという事実が明らかになってきたからである。労働者の多くがホワイトカラーの台頭時に仕事を失ったように、AI の苦手とする新たな市場において活躍できない人が取り残される可能性は高い。著者は、好景気が続くにもかかわらず賃金の中央値が下がっている現在の状況を、イノベーションによる労働者の分断であると警笛を鳴らす。イノベーションに代替可能な種類の労働の価値が急激に下がっているのである。

コンピュータが自律的に“いい感じ”の政治をしてくれたり、幸福をもたらしたりすることはない。しかし、人間がコンピュータのはじき出した数値に自らの価値観を寄せるという傾向は否定できないのではないかと私は感じる。

私が本著から受けたメッセージは、読解力や論理的思考を養う努力を怠らないこと、AI に自分の価値観を委ねないこと、である。皆さんも是非ご自身で手に取り、それぞれのうちにおいて危険信号を感じ取ることをお勧めしたい。

(菊澤育代 研究主査)



## ◆所員雑感 人の力はすごい～銀川市、霊武市を訪ねて～

アジア都市景観賞授賞式の事前打ち合わせのため、8月の終わりに中国銀川市を訪問しました。銀川市は、中国の寧夏回族自治区というシルクロードの入り口、上海から飛行機で2時間半、北京から1時間半の距離にある都市です。砂漠の中に突然広大な緑地が広がる様子を空から見ると、地球はすごいと実感します。古代の西夏の王都があった場所ということで、ロマンを感じていたのですが、実際の銀川は、大規模な都市開発の進む、成長著しい中国を体現する新しい都市でした。いたるところで、高層ビル群の建設が進んでおり、人口も200万以上、どんどん増えているとのことで、街の持つ勢いに圧倒されました。銀川市内は豊かな水と緑にあふれており、それは、黄河からの古くからの灌漑により作られてきたということで、人の力のすごさを実感しました。

また、銀川市の南側に位置する霊武市の砂漠の緑化事業を案内してもらい、一層その思いを強くしました。砂漠の緑化に60年前から取り組み、今では、見渡す限り広大な緑地帯になっています。最初は、道もなく、50キロの麦わらを背負って、植樹したということで、ここまでになるまでにどれくらいかかったのだろうかかと想像を超えた驚きを感じました。緑化には終わりはなく、やめてしまえば、

また、砂漠に戻ってしまい、街が砂漠に浸食されてしまうそうです。考えただけで、頭が痛くなるような壮大で、根気のいる事業と感じました。この緑化事業には、過去日本も多額の支援を行っており、日本からボランティアも来ていたとのことでした。

銀川市や霊武市の取り組みは、アジア都市景観賞を受賞しており、このような自然や環境と共生した優れたまちづくりの成果が、アジア各国に広く共有され、持続可能な発展に貢献できることを期待します。



写真:URC撮影 (中村郁子 副理事長)

## ◆特別寄稿 \*一人一花の楽しみ\* 第8回 10月

## 秋桜(コスモス)・金木犀(キンモクセイ)

福岡市が提唱する一人一花運動、157万人の市民が一花を育てると福岡は157万本の花溢れるフラワーシティになる。

10月13(土)、14(日)は福岡市植物園で「一人一花サミット」と称し、福岡市の一大イベントが開催される。一人一花ステーションの拠点として植物園の新たな楽しみも披露される。動物園が併設された都市公園は市民の大切な財産であり、私たちの楽しみ場でもある。

10月の一花は秋桜と金木犀をご紹介します。

まずは、秋桜(コスモス)。熱帯アメリカ原産のキク科コスモス属、メキシコからスペイン、マドリッド王立植物園に送られコスモスと名付けられる。日本には明治12年に美術教師がイタリアから持ち込んだ。コスモスの由来はギリシャ語のコスモス(星座の秩序・宇宙の秩序)からだが、和名の「秋桜」はさだまさしの曲名で初めて用いられ意外と新しい。花言葉は「少女の純真」「真心」、秋の澄んだ青空に向かい風に揺れて咲く「秋桜・コスモス」の美しさに心奪われるのは私だけではない。万人に愛される秋の一花だ。また、行政書士の徽章(バッジ)にコスモスの花が使われているのは、秩序、純粹の意味を象徴しているのだとか…今度良く見せて貰おうと。コスモスは花色・花種も多く、園芸種で改良され多年草もある。群生のコスモスは秋の観光資源でもあり、景観植物として私たちに秋の花風景を楽しませてくれる。



アイランドパーク(能古島)コスモスまつり

コスモスの育て方は種からがおすすめ。開花は90日後位なので逆算して、種蒔き日を設定。センセーションコスモス(人気種・初心者向き)の種

写真提供及び執筆:福博:花まち研究会 会員 きむらみえこ(環境演出家®)

を筋蒔き、本葉が出て10cm位で間引きする。プランター栽培でも同様に楽しめる。土は培養土6、赤玉4の割合で肥料は控えて、液肥補充がおすすめ。花の高さを調整したいときは先端を摘めば、脇芽から茎が出て花数も増える。

さて、次の一花は金木犀(キンモクセイ)。金木犀の素敵は何といっても花香の素晴らしいと花色・花姿。秋を代表する花木、モクセイ科、モクセイ属の常緑樹、庭に植えたい人気花木。一方、銀木犀はかすかな香りがあり生け垣などに



満開の金木犀(キンモクセイ)

多用される。金木犀の花の時期は1週間ともたない程短命。芳しく咲いて十字の小さな花弁が香りを纏ったまま、雨の路面に落ちている様に思わず立ち止まることもある。ありがとう、さよなら…

そんな短命の金木犀を、今年は花シロップにして楽しんでみては如何?作り方は意外と簡単。材料は①金木犀の花、②砂糖(三温糖)、③桂花陳酒(白ワインに金木犀を漬けて寝かせたもの)または白ワイン、保存用瓶。作り方は、①金木犀の花弁(中開が良い)70グラム(パンチングボールに半分位)を摘み、埃や花茎を除き、花弁だけにして水洗い。鍋に③桂花陳酒150ccと②砂糖(三温糖)150gを入れ、砂糖が溶けたら、金木犀の花弁を入れ2.3分弱火で煮る。しっかりと冷まして、清潔な瓶に入れて保存。花香・花色・花姿がそのままの残る優雅な花シロップの出来上がり。

材料の分量は①花1:桂花陳酒2:砂糖2、②花1:白ワイン2:砂糖3、をベースにしてお好みにカスタマイズしてお楽しみいただきたい。保存は冷蔵庫(10日~20日)冷凍庫(3、4ヵ月)が目安。

## 編集後記

前号から「URCメディア紹介情報」を同時発行の「資料速報」冒頭に移しておりますので、是非ご覧ください。

気持ちの良い季節になってまいりました。特別寄稿連載中のきむらみえこさんの作品が、9月29日~11月4日までハウステンボス、テラスガーデンにて3コマ展示中です。お時間があれば、ぜひご覧ください。

9月は芸能界にとって大きな出来事が2つありましたね。

一つは、30代~40代女性のカリスマ安室奈美恵さんの引退。9月の天神は安室奈美恵一色でした。どうしてこんなに人を惹きつけられたのか?娘に聞くと、「私生活でのいろいろな困難を乗り越え、歌とダンスだけで魅了しつづけてくれたこと」だそうです。これからの彼女の幸せな人生を祈りたいです。

16日安室奈美恵引退のその日、名女優樹木希林さんの死亡が報道されました。樹木さんは全身がんに侵されながらも多くの名作に出演し、最後まで私たちを楽しませてくれましたし、その私生活では「人を愛するという事」を教えられたような気がしました。ご冥福を心からお祈りします。(崎)